

## 平成29年度小豆島オリーブビギナー検定(小豆島会場) 正解表

設問	正解	テキスト 記載P	備 考	設問	正解	テキスト 記載P	備 考	設問	正解	テキスト 記載P	備 考
問1	3	P54	オリーブ栽培の起源には諸説あるが、約6,000年前に小アジア地方で始まったというのが現在の定説になっている	問18	4	P30	樹齢は極めて長く、地中海沿岸では1,000年を超える老樹も珍しくない	問35	2	P60	小豆島では、2008年時点において、約60品種・系統が導入されており、その中4品種が一般的に栽培されている
問2	3			問19	2	P31	開花期間は約一週間と短い。蜜はなく、多量の花粉を風で飛ばす風媒花であるが、虫媒花でもある	問36	3	P56～59	①スペイン ②スペイン ④ギンジャ
問3	1	P8	日本に初めてオリーブオイルが持ち込まれたのは、約400年前の安土・桃山時代であり、当時キリスト教伝道のため来日したフランシスコ派のポルトガル人神父が携えてきたと言われている	問20	4		表面は厚い透明のクチクラに覆われて光沢のある濃緑色、裏面は密生した毛茸で銀白色になっている	問37	2	P67	オイル用品種である
問4	1			問21	3		開花期間は約一週間と短い 5月下旬～6月上旬にかけて開花する	問38	1	P38,39	②成虫の生存期間は3～4年間 ③成虫は3月下旬から10月下旬まで絶え間なく活動を続け、冬期は樹下の落葉下などで休眠状態で過ごす ④明治41年栽培開始時から2年後には存在が確認されている
問5	4	P12	この戦争によって、北方海域に広大な漁場を獲得し、魚介類の水揚げが増え、その魚介類を油漬けにしたことから、輸入していたオイルの自給が求められた	問22	3	P32	自家不和合性の性質を持つため収穫量を上げるために受粉樹として異なる品種をある程度混植しているケースが多い	問39	1		P42～45
問6	4			問23	4	P60～62	観賞用樹として最も苗木生産量が多いのが特徴	問40	2	P45～49	
問7	3	P10	明治7年、佐野常民(博覧会副総裁)がイタリアからオリーブを持ち帰り、東京と和歌山に植樹	問24	2		世界中で多く栽培される主要品種。自家不和合性が強いなど弱点があるが栽培は容易	問41	4	④ベストの接する部分がステンレス・スチールなので、他の金属イオンの影響を受けにくい	
問8	3	P12	農商務省が明治40年に3県を指定し、翌年それぞれ1.2haの規模で試験栽培開始した	問25	3		国内オリーブ栽培の果実加工用、油用兼用の最主要品種となっている	問42	4	P71	④オリーブ・ポマスオイルはオリーブの採油カス(ポマス)を溶剤で処理したオイル
問9	2	P13	明治32年、香川県農事試験場の創設とともに福家梅太郎が場長に就任	問26	1	含油率は25%程度と非常に高い	問43	1	品質の高い順に、エクストラ・バージン・オリーブオイル、バージン・オリーブオイル、オーディナリー・バージン・オリーブオイル、ランバンテ・バージン・オリーブオイルとなる		
問10	4	P60～62	実際にアメリカから輸入されたのは3品種あったが、1品種は不明	問27	2	P40	小豆島の主要4品種のうち、果実加工用のマンザニロの収穫が9月下旬から開始される	問44	2	P73	エクストラ・バージン・オリーブオイルとは、素晴らしい風味や酸度の低さともに、トップクラスのオリーブオイルである
問11	1	P16	昭和26年に香川県農業試験場小豆分場が発足し、初代分場長を務めた	問28	4	P34	日照量が多いほど生育が良い	問45	2		①、③、④は多価不飽和脂肪酸である
問12	3	P11,14	福羽逸人は、農学者、園芸家、造園家であり、三田育苗場植物御用苑係、宮中顧問官、宮内省大膳頭などを務める	問29	3		オリーブ樹は乾燥を好む植物とされているが、適度な降水量が必要となる	問46	3	バージン・オリーブオイルはビタミンEやベータカロチン、ポリフェノール類などの抗酸化物質を豊富に含んでいる	
問13	2	P12	三重と鹿児島で栽培したものは開花したが結実は極めて不良に終わった	問30	3	P35	比較的低温には強く、短時間の場合マイナス10度で寒害が発生する程度である	問47	3	P51,52 P73～77	エクストラ・バージン・オリーブオイルは、採油工程において、原料処理や溶剤使用はもちろん、加熱処理なども一切おこなっていない。 精製オリーブオイルは、酸度が高すぎたり香りや味に欠陥があると、精製して遊離脂肪酸や欠陥を除去する。このような無色・無味・無臭のオイルを精製オリーブオイルと呼ぶ
問14	1	P9～17	②野呂 癸巳次郎 ③三木 隼人 ④前田 正名	問31	1	P36	土壌に対する適応性は大きいのが、根の生育には良好な通気性を必要とする	問48	3	P22	①県花に選ばれる ②県木に選ばれる ④小豆島オリーブ公園オープン
問15	3	P18,22	オリーブが農産物輸入自由化の第一弾に組み込まれた	問32	1	P56, 60～62	平均重量は重い順に マンザニロ>ミッション>ネパディロ・ブランコ>アルベキナ	問49	1	P82	香川県高松市生まれ。梨本宮にオリーブの絵を献上。これが、日本で最初に描かれたオリーブの絵となった
問16	4	P27	昭和39年当時小豆郡内では、106haで栽培され、香川県の栽培面積は130haで栽培されていた	問33	1	P40	小豆島のテーブルオリーブス(新漬け)用果実の収穫は全て手摘みで行っている	問50	1	P22	1972年に「小豆島オリーブを守る会」が結成され、3月15日をオリーブの日と定める
問17	2	P30	モクセイ科オリーブ属に属する常緑樹である	問34	4	P30	オリーブ樹は常緑樹である				